

□議員名：杉本保喜

### 1 選挙の投票率向上について

論点	最近の投票率低下に対する具体的な対策を考えているか。
回答	市広報、啓発用看板や物品配布、街宣車による放送等で選挙啓発に努めているが、なかなかその成果が上がらず、投票率の向上策については、残念ながら「決めて」がない状況である。

論点	向上策の一つとして、高齢の選挙人に対する投票環境を整備することが必要ではないか。
回答	提案の投票所までの距離を短く、身近になるよう投票区の区割り、見直しをすることについては、現状の投票所において選挙人がより投票しやすくなる区割りができるか等を研究してみたい。 また、移動期日前投票所の提案は、現状と問題点から必要はないかと思う。

### 2 地域コミュニティの振興、活性化について

論点	地域コミュニティの振興、活性化を進める具体策を問う。
回答	市民が主体的に開催する祭や市民の諸行事について、今後とも後援や補助金等の財政的支援をしていくことで地域コミュニティの振興を図っていく。

論点	地域コミュニティの振興、活性化における行政からの支援のあり方に工夫が必要だと思うがどうか。
回答	地域への情報発信や、地域行事に進んで参加する体勢で職員の意識改革も進んでいる。 また、市民のまち歩きガイドブック作成に職員も一緒になってやる等頑張っているところである。

### 3 コミュニティ活動保険制度について

論点	コミュニティ活動保険制度の具体的な充実策を問う。
回答	地域コミュニティ活動の観点から、市民が活動する行事等を網羅したコミュニティ活動保険制度を導入している先進地事例を調査研修し、本市の現状を踏まえて研究してまいりたい。

論点	他市の保険制度が市民の多岐にわたる活動を保障していることや、その契約をホームページで公開していることを勉強し、これを実施すべきではないか。
回答	市民活動事業の把握等を含め、先進地を参考にして研究したい。

#### 4 地域の防災力向上について

論点	地域の防災力向上を図るための具体的な対策を問う。
回答	住民の自助、共助の啓発のため、自治会や各種団体等への出前講座、広報やホームページ等で啓発活動に努めている。 また、組織運営と訓練への助言、資機材の整備支援等をはじめ、防災士育成支援、情報伝達手段の整備に努めている。

論点	地域による防災意識の差を解消する方策を問う。
回答	特に難しい訓練は必要ないと考えている。連絡網の確認や行事の中に防災関連のものを加えて啓発活動ができれば、またその助言等をやりながら底上げを図っていきたいと考えている。

論点	職員の中に防災士の有資格者がいるのか。 今後の防災士育成の方策を問う。
回答	職員の中にいないと認識している。 資格取得だけで地域のリーダーとして期待できないので、講師の紹介等を含め、できるだけ支援していきたい。